

# 産業廃棄物最終処分場調査要領

## 1. 調査概要

本調査は、この調査要領と調査票及び別紙からなり、調査票及び別紙は以下のとおりとなる。

- ① 半角自治体番号自治体名 R5 年度 処分場 (R4 実績) .xlsx
- ② (事業者名) R5 年度 処分場 (R4 実績) .xlsx
- ③ 別紙\_調査票の変更点に関する留意事項.docx

①、②はそれぞれ、遮断型・安定型・管理型の調査票シートを含んでいる。

事業者は③の変更点を確認の上、②のファイルに回答を記入し、自治体に提出する。

自治体は事業者から提出された②のファイルから、①に集約（データ貼り付け）して環境省に提出する。

本調査の入力にあたっては、「4. 回答方法」によること（特に「4. 1 留意事項」を参考にすること。）。

自治体が②の事業者からのデータを集約（データ貼り付け）する方法は、①に記載しているので確認すること。

調査対象期間初日時点で所管する産業廃棄物最終処分場について記入し、調査対象期間中に市町村合併があった場合や産業廃棄物行政の所管に変更があった場合にあっては、新たに所管することとなった施設について、関係自治体と連携を取り記入すること。

## 2. 調査対象施設

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 15 条に基づく許可を受けた（届出し受理された）産業廃棄物最終処分場。

- 調査対象期間最終日時点で設置の許可を受けている施設（未設置又は工事中の施設も含む。）
- 調査対象期間初日時点で設置を許可されていた産業廃棄物最終処分場のうち、調査対象期間中に廃止又は許可取消となった施設

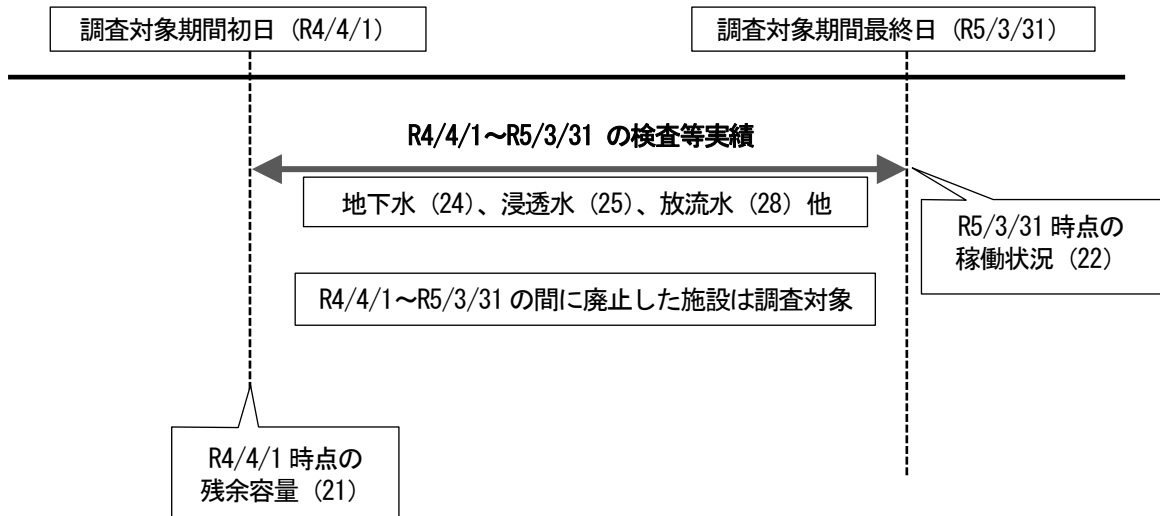
※下記施設は対象外

- ・ 調査対象期間前に廃止又は許可取消となった施設（炉）
- ・ ミニ処分場、旧処分場

## 3. 調査対象期間等

調査対象期間	: 令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
調査対象期間初日	: 令和 4 年 4 月 1 日
調査対象期間最終日	: 令和 5 年 3 月 31 日
調査対象期間前	: 令和 4 年 3 月 31 日以前
調査対象期間後	: 令和 5 年 4 月 1 日以降

## 【最終処分場調査の調査対象期間】



## 4. 回答方法

### 4. 1 留意事項

- レコードやデータを削除（または更新）する際は、「取り消し線」は使用せず、直接データを削除（または更新）すること。
- 列の挿入・削除はしないでください。
- 1セルにつき、1データとしてください。
- セルの結合はしないでください。
- 許可を受けている施設ごとに行を分けて記入すること。1つの施設で複数の許可を得ている場合（遮断型最終処分場と管理型最終処分場の併設等）は、許可ごとに該当するシートに入力すること。
- 1つの施設であるものの、何らかの理由により1行で回答できない設問がある場合は、その設問を空欄にした上でその行の備考欄に20行目の問番号（(10)-1等）と、1行で回答できない理由、複数の回答を記載すること。（自治体の皆様：昨年度調査において何らかの理由により2行に分けて回答を行っていた施設のみが対象となります。昨年度調査において1行で回答している施設については、昨年度と同様に1行で回答するようにしてください。お手数ですが集計時にご確認をお願いいたします。）
- 自治体においては令和5年度行政組織等調査（令和4年度実績）との整合がとれているかを確認すること。
- 数値の入力にあたっては、半角入力とする。  
年月日を回答する設問の入力にあたっては、西暦を用いて統一の書式で入力する。（例：2020/12/5）
- 回答方法は、記述式とプルダウンによる選択式がある。プルダウンによる選択式の設問において、選択肢のいずれにも当てはまらないと考えられる場合には「9 いずれにも当てはまらない」を選択の上、各行の備考欄に、調査票20行目に記載の問番号（(10)-1等）と、当てはまらないと考えられる理由を記入すること。（なお、「9 いずれにも当てはまらない」が選択肢にない場合でも、何らかの理由により当てはまるものがないと考えられる場合には、当該回答欄を空欄にした上で、

同様に備考欄に問番号と理由を記入すること)。

- 回答は電子データで行い、ファイル名は以下とすること。

- ①事業者から自治体へ提出する場合

『(事業者名) R5 処分場 (R4 実績) .xlsx』

(例：(株式会社〇〇) R5 処分場 (R4 実績) .xlsx)

- ②自治体から環境省へ提出する場合

『半角自治体番号自治体名 R5 処分場 (R4 実績) .xlsx』とする。

(例：001 北海道 R5 処分場 (R4 実績) .xlsx)

- 4. 2 調査票について に (自治体にて記入) と記載がある項目については、自治体にて記入されるので事業者が回答する際には記入不要である。なお、調査票内では斜線が入っている。
- 例年、担当者欄が未記入の場合が多いため、忘れず記入すること。

#### 4. 2 調査票 (遮断型、安定型、管理型) について

調査票 (遮断型) では(1)～(10)、(12)、(21)～(24)、(33)について、

調査票 (安定型) では(1)～(18)、(21)～(27)、(33)について、

調査票 (管理型) では(1)～(22)、(23)～(24)、(26)～(33)について入力してください。

なお、実績値以外の項目で、調査対象期間初日時点から変更があった項目は、変更年月日と変更内容 (数値等) について、その旨を備考欄に入力してください。

- (1) 自治体番号 (自治体にて記入)

- (2) 自治体名 (自治体にて記入)

- (3) 施設番号 (自治体にて記入)

通し番号を 1、2、3…のように入力する。

- (4) 設置者名 (記述式)

調査対象期間中に名称が変わった場合、新しい名称に加えて (旧：〇〇) のように記入し、調査対象期間後に名称が変わった場合は調査対象期間中の旧名称で記入する。

(例：株式会社▲▲ (旧：株式会社〇〇))

- (5) 施設名 (記述式)

調査対象期間中に名称が変わった場合、新しい名称に加えて (旧：〇〇) のように記入し、調査対象期間後に名称が変わった場合は調査対象期間中の旧名称で記入する。

(例：▲▲焼却炉 (旧：〇〇処理施設))

- (6) 設置場所 (記述式)

施設設置場所の住所を記入する。

- (7) 設置許可 (届出) 年月日等 (記述式)

西暦を用いて統一の書式で入力する。(例：2020/12/5)

また、他の種類の最終処分場が併設されている場合は、その内容について該当する欄に「1」を入力する。

**(8) 設置者区分（プルダウン式）**

「1. 排出事業者」、「2. 処理業者」、「3. その他」の選択肢のうち該当するものを選択する。

「3. その他」には、公共関与（例えば 自治体、公共関与の整備センター、**一般社団法人・公益財団法人**等）が該当する。

※ 「その他」の例示にある一般社団法人・公益財団法人は今年度より例示に追加いたしました。昨年度調査まで一般社団法人・公益財団法人であっても「排出事業者」「処理業者」と回答していた場合は、今年度調査より「その他」にて回答してください。

※ 何らかの理由により、いずれにも当てはまらないと考えられる場合には「9. いずれにも当てはまらない」を選択した上で、備考欄に20行目の問番号とその理由を記載してください。

**(9) 埋立場所（プルダウン式）**

「1. 陸上（山間、平地等）」、「2. 水面（水面、海面）」の選択肢のうち該当するものを選択する。

※ 何らかの理由により、いずれにも当てはまらないと考えられる場合には「9. いずれにも当てはまらない」を選択した上で、備考欄に20行目の問番号とその理由を記載してください。

**(10) 処理能力（記述式）**

処分場の処理能力としての埋立面積(m<sup>2</sup>)及び埋立容量(m<sup>3</sup>)を入力する。

**(11) 埋立方式（プルダウン式）**

準好気性埋立の場合は「1. 準好気性」、嫌気性埋立の場合は「0. 嫌気性」を選択する。

**(12) 廃棄物の許可品目（複数回答可）（プルダウン式）**

当該施設の許可品目であるもの全てに「1」を入力する。

**(13) 浸出液処理施設の有無（安定型にあっては浸透水の処理施設）（プルダウン式）**

浸出液処理施設が「有」の場合は「1」、「無」の場合は「0」を入力する。

「有：1」の場合は（14）へ

「無：0」の場合は（15）へ（（14）（16）（17）（18）の回答は不要です。）

**(14) 浸出液処理施設の処理方法（（13）で有とした場合のみ）（安定型にあっては浸透水の処理施設）（プルダウン式・記述式）**

浸出液処理施設の処理方法の種類について、「生物処理」、「凝集沈殿」、「砂ろ過」、「活性炭処理」、「キレート処理」、「脱塩（管理型のみ）」のうち該当するもの全てに「1」を、それ以外の場合は「その他」に「1」を記入の上、具体的な処理方法を入力する。

**(15) 保有水等集排水管の性能（プルダウン式）**

保有水集排水管の性能について、不明の場合は「0. 不明」を、管きよ等の端部が大気に開放されている場合は「1. 開放」を、管きよ等の端部が大気に開放されていない場合は「2. 無開放」

を選択する。

※ 何らかの理由により、いずれにも当てはまらなると考えられる場合には「9. いずれにも当てはまらない」を選択した上で、備考欄に20行目の問番号とその理由を記載してください。  
なお、「管きよ等の端部が大気に開放されている」とは、以下の4つの条件を満たすことが考えられる。

- ・ 通気設備（又は竖型集排水管）を保有水等集排水管に接続している
- ・ 通気設備（又は竖型集排水管）が発生ガスのモニタリング等で閉塞していないことを確認している
- ・ 計画した質及び量を計画する水質に処理していることから、保有水等集排水管が閉塞していないことを確認している
- ・ 保有水等集排水管のバルブを常に開放している、又は集水ピットの水位を集排水管出口以下で常に保っている

**(16) 公共水域への放流の有無（(13)で有とした場合のみ）（プルダウン式・記述式）**

放流の有無について「有」の場合は「1」、「無」の場合は「0」を入力する。

なお、管理型最終処分場については、処理前の水質のBOD、窒素含有量のデータがある場合は入力する（温暖化影響の試算に用います。）。

また、「無」の場合、下記より当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。（複数回答可）

- a. 放流水が発生しない。
- b. 最終処分場以外の場所にある水処理設備で処理
- c. 焼却施設の冷却等に利用
- d. 下水放流
- e. 処理後最終処分場内で散布
- f. 蒸発散
- g. その他（具体的な理由を記入すること。）

**(17) 放流先（(13)で有とした場合のみ）（プルダウン式）**

放流先について「1. 海域以外の公共用水域」、「2. 海域」の選択肢のうち該当するものを選択する。

**(18) 放流水の排水量（(13)で有とした場合のみ）（記述式）**

当該施設に係る平均排水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ）を入力する。

**(19) 当該処分場に係る埋立地への散水の有無（プルダウン式・記述式）**

処分場のうち埋立地への散水の「有」の場合は「1」、「無」の場合は「0」を入力する。

また、「有」の場合、平均散水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ）を入力する。そのうち、浸出液処理施設で処理した後の水を散布している場合は、その平均散水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ）も入力する。

※注意事項：最終処分場内ではなく、埋立場所内への散水であることに注意すること。

**(20) 当該処分場に係る埋立地での雨水の影響の有無（プルダウン式・記述式）**

当該処分場に係る埋立地での雨水の影響の「有」の場合は「1」、「無」の場合は「0」を入力する。「無」には例えば屋根付きの埋立地などが該当する。

**(21) 調査対象期間初日時点の残余容量（記述式）**

調査対象期間初日時点の残余容量（ $m^3$ ）を入力する。

なお、調査対象期間初日時点で供用開始されていない施設については、「×」を入力する。

埋立が終了した処分場については「0（ゼロ）」を入力すること。

なお、安定型最終処分場許可及び管理型最終処分場許可を受けている同一の処分場であって、区画等により安定型産業廃棄物及び管理型産業廃棄物の各々の残余容量が把握できている場合は、該当する調査票に各々の残余容量を入力する。各々の残余容量が把握できない場合は、残余容量は管理型最終処分場として入力することとし、調査票（安定型）では残余容量を「0（ゼロ）」と入力する。また、管理型最終処分場において、建設汚泥のみの残余埋立容量を定めている場合は、その残余容量を入力し、定めていない場合は「0」と入力する。

**(22) 調査対象期間最終日時点の稼働状況（プルダウン式・記述式）**

調査対象期間最終日時点の稼働状況について、「1. 埋立前」、「2. 稼働中」、「3. 休止中」、「4. 埋立終了」、「5. 廃止又は許可取消」のいずれかを選択する。

「廃止又は許可取消」については調査対象期間に廃止又は許可取消となった施設が該当する。調査対象期間最終日の次の日（次年度調査対象期間初日）に廃止した施設に限っては、調査対象期間最終日時点の稼働状況を入力する。

※ 処分場内に、複数の稼働状況の区域が存在する場合、稼働中の区域があれば、稼働中とすること

※ 何らかの理由により、いずれにも当てはまらないと考えられる場合には「9. いずれにも当てはまらない」を選択した上で、備考欄に20行目の問番号とその理由を記載してください。

「2. 稼働中」の場合に調査対象期間中に休止していた時期がある場合には「稼働中の場合休止期間」の欄を入力する。「3. 休止中」、「4. 埋立終了」の場合は「休止・埋立終了の場合年月日」の欄に休止年月日又は埋立終了年月日を入力する。「5. 廃止又は許可取消」の場合は廃止又は許可取消となった年月日を「廃止又は許可取消の場合年月日」の欄を入力する。（西暦を用いて統一の書式で入力する。（例：2020/12/5））

調査対象期間に新規供用された施設は「調査対象期間に新規供用」の欄にも「1」を入力する。

**(23) 調査対象期間の廃棄物埋立量（記述式）**

調査対象期間の廃棄物埋立量（覆土分を除く）（ $m^3$ ）を入力する。

**(24) 調査対象期間の処分場の周縁地下水の水質検査結果（プルダウン式・記述式）**

調査対象期間に実施した周縁地下水水質検査結果の「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（以下「基準省令」という。）の別表第二（地下水等検査項目に係る基準値）への適否について、検査結果が適合している場合は「1. 適合」、適合していない場合は「0. 不適合」を選択する。

また、当該検査を実施していない場合には「×. 未実施」を選択し、その理由を記載する。

「0. 不適合」の場合については不適合物質名を記入し、その基準超過原因については、原因が処分場である場合は「2. 処分場」、その他である場合は「1. その他」、不明の場合は「0. 不明」を選択する。また、「1. その他」を選択した場合はあわせてその詳細も記入する（自然由来、上流側での水質悪化と推測等）。加えて基準超過判明後に「講じた措置」についてその内容を入力する（不適合の原因が自然由来の可能性が高い場合も「経過観察（自然由来の可能性が高いため）」「特に講じていない」等、入力を行うこと。）。

**(25) 調査対象期間の浸透水の水質検査結果（プルダウン式・記述式）**

調査対象期間に基準省令第2条第2項第2号ホに基づき実施した浸透水の水質検査結果の同号ホに掲げられた値への適否について、適合している場合は「1. 適合」、適合していない場合は「0. 不適合」を選択する。

また、当該検査を実施していない場合には「×. 未実施」を選択し、その理由を記載する。

「0. 不適合」の場合については不適合物質名を記入し、その基準超過原因については、原因が処分場である場合は「2. 処分場」、その他である場合は「1. その他」、不明の場合は「0. 不明」を選択する。また、「1. その他」を選択した場合はあわせてその詳細も記入する（自然由来、上流側での水質悪化と推測等）。加えて基準超過判明後に「講じた措置」についてその内容を入力する（不適合の原因が自然由来の可能性が高い場合も「経過観察（自然由来の可能性が高いため）」「特に講じていない」等、入力を行うこと。）。

**(26) 遮水工（記述式）**

遮水工の有無について下記より当てはまる記号を選択する。（複数回答可）

- a. 厚さ 50cm 以上、透水係数が 10nm/秒以下である粘土その他の材料の層の表面に遮水シートを敷設
- b. 厚さ 5cm 以上、透水係数が 1nm/秒以下であるアスファルト・コンクリートの層の表面に遮水シートを敷設
- c. 2重の遮水シート
- d. その他の遮水設備を設置（基準省令第1条第5号イ(1)ただし書き等）
- e. 不透水性地層を有し、遮水工を設けていない
- f. 不透水性地層ではないが遮水工を設けていない

**(27) ガス抜き管の設置（プルダウン式・記述式）**

ガス抜き管の設置有無について、「有」の場合は「1」を、「無」の場合は「0」を選択する。また、「有」の場合、埋立ガスの処理について以下の a～c の該当する調査票回答欄に記入する。

- a. 埋立ガスを回収し、有効利用を行っている（回収量(L/日)、有効利用方法を記入）
- b. 埋立ガスの処理を行っている（処理量(L/日)、処理方法を記入）
- c. 埋立ガスの処理を行わず、大気中に排出している（該当欄にて「1」を選択）

**(28) 調査対象期間の放流水のほう素・ふっ素等の水質検査結果及び基準超過の場合の対応状況（記述式）**

- ・ 暫定基準項目及び規制値の変更を検討する必要がある項目についてお伺いしています。

- ・ 放流水の水質検査（行政検査・自主検査は問わない。）における「ほう素及びその化合物」、「ふっ素及びその化合物」、「アンモニア・アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物」、「1,4-ジオキサン」、「カドミウム」、「トリクロロエチレン」、「大腸菌群数」、「六価クロム」について、調査対象期間における測定結果等を入力する。なお、複数回分の測定結果がある場合は、最大値及び平均値を入力する。  
（1回のみ測定結果の場合は、同じ測定値を最大値と平均値の欄の両方に入力する。）
- ・ 測定量が定量下限値を下回る場合は、「<0.001」のように記入し、検出限界値を下回る場合は、「ND」と表記すること。なお、複数回分の測定結果からの平均値の算出にあたっては、検出下限値未満の場合は0を、定量下限値未満の場合は定量下限値の1/2の値を用いること。
- ・ 調査対象期間初日時点で稼働中の施設であって、測定を行っていない場合は「測定無し」を入力し、測定結果待ちの場合は「分析中」を入力する。「分析中」と記入した場合は、結果が出次第必ず報告をすること。
- ・ 水質基準の適否について、複数回の測定を行っている場合は、個々の測定値で基準の適否を判断し、「ほう素及びその化合物」、「ふっ素及びその化合物」、「アンモニア・アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物」、「1,4-ジオキサン」、「カドミウム」、「トリクロロエチレン」、「六価クロム」、「大腸菌群数」の測定結果が基準値を超過していた場合は、対応状況を入力する。  
対応状況：【〇〇の基準超過のため、{継続監視・施設停止・改善・等}を{指導・命令・等}。現在は{基準に適合を確認した・改善中である・等}ため、{〇月〇日より稼働再開・停止中・等}。】

(29) 調査対象期間の放流水のダイオキシン類測定結果（記述式）

- ・ 放流水の水質検査（行政検査・自主検査は問わない。）におけるダイオキシン類について、調査対象期間における測定結果及び適用された基準値を入力する。なお、複数回分の測定結果がある場合は、最大値及び平均値を入力する。（1回のみ測定結果の場合は、同じ測定値を最大値と平均値の欄の両方に入力する。）  
また、必要な測定が行われていない場合には、「最大値」及び「平均値」の欄に「×」を入力するとともに、その理由を入力すること。
- ・ それぞれの異性体の測定量が定量下限値を下回る場合は、「<0.001」のように記入し、検出限界値を下回る場合は、「ND」と表記すること。
- ・ 水質基準の適否について、複数回の測定を行っている場合は、個々の測定値で基準の適否を判断し、測定結果が基準値を超過していた場合は、対応状況を入力する。  
対応状況：【{継続監視・施設停止・改善・等}を{指導・命令・等}。現在は{基準に適合を確認した・改善中である・等}ため、{〇月〇日より稼働再開・停止中・等}。】

(30) 建設汚泥（中間処理を行ったものを含む）の受入有無（記述式）

- ・ 建設汚泥の受け入れ有無について、「無し」の場合、受入無しの理由について下記a～fより当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「f. その他」と回答した場合は、具体的な内容を記入すること。
  - a. 残余埋立容量が少ない、埋立を終了している
  - b. **自社処分のみ**、顧客を限定している



- c. 単価が合わない
- d. 建設汚泥を受入項目に含めていない、周囲で汚泥が発生しない
- e. 中間処理施設としてのみ受け入れ
- f. その他 ⇒ 具体的な理由を記入
- ・ 「有り」の場合、「年間受入量」の数値と単位（m<sup>3</sup>/年もしくはt/年）を記入する。
- ・ 「年間受入量」が不明または記載不可の場合、下記a～cより当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「c. その他」と回答した場合は、具体的な内容を記入すること。
  - a. 直近の受け入れ実績がない
  - b. 建設汚泥として個別に集計していない
  - c. その他 ⇒ 具体的な理由を記入

(31) 建設汚泥の受入条件（(30)で「受け入れ有り」と回答した場合のみ）（プルダウン式・記述式）  
建設汚泥を受け入れる際の受入条件に当てはまるものを入力する。

【受入上限（数量）】

建設汚泥を受け入れる際の、受入上限の有無について回答する。

- ・ 「上限無し」の場合は、無しに「1」を入力する。  
※残余埋立容量を考慮し、明確な上限値を決めていない場合は「上限無し」とすること。
- ・ 「上限有り」の場合は、受入上限の内容について下記a～eより当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「a～c」と回答した場合は、具体的な数値と単位（m<sup>3</sup>もしくはt）を記入すること。
- ・ 「d～e」と回答した場合は具体的な内容を記入すること。
  - a. 年あたり
  - b. 日あたり
  - c. 回あたり
 ⇒ 具体的な数値と単位（m<sup>3</sup>もしくはt）を記入
- d. 都度協議 ⇒ 具体的な内容を記入
- e. その他 ⇒ 具体的な内容を記入

【含水率】

建設汚泥を受け入れる際の、含水率の基準値の有無について回答する。

- ・ 含水率の基準値「無し」の場合は、無しに「1」を入力する。
- ・ 含水率の基準値「有り」の場合は、設定している含水率の基準値を記入する。

【基準値】

建設汚泥を受け入れる際の、基準値の有無について回答する。

- ・ 基準値「無し」の場合は、無しに「1」を入力する。
- ・ 基準値「有り」の場合は、基準値の内容について下記a～cより当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「c. その他」と回答した場合は、具体的な内容を記入すること（別表添付も可能）
  - a. 法令や他の基準に基づいたもの（土壌汚染対策法等）
  - b. 独自基準（発色性、油分、臭気等）

- c. その他 ⇒ 具体的な内容を記入 別表添付も可

**【排出元】**

建設汚泥を受け入れる際の、排出元の限定の有無について回答する。

- ・ 排出元を「限定しない」場合は、限定しないに「1」を入力する。
- ・ 排出元を「限定する」場合は、限定範囲について下記a～cより当てはまる理由を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「c. その他」と回答した場合は、具体的な内容を記入すること。
  - a. 地域（都道府県、市町村等）により限定する
  - b. 顧客（中小企業等）により限定する
  - c. その他 ⇒ ○○地域を除く等、具体的な内容を記載

**(32) 建設汚泥の年間の受入可能量（(31)で「受け入れ有り」と回答した場合のみ）（記述式）**

建設汚泥の年間受入可能量について、該当するものを入力する。

**【年間受入可能量を決めている場合】**

- ・ 「決めている」場合は、年間受入可能量について下記a～cより当てはまる内容を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「b. 別途定めている」と回答した場合は、定めている具体的な数値と単位（m<sup>3</sup>/年もしくはt/年）を記入すること。
- ・ 「c. その他」と回答した場合は、具体的な内容について記入すること。
  - a. 受入上限と同じ（※(28)【受入上限】で受入上限有りとは回答した場合のみ回答可能）
  - b. 別途定めている ⇒ 具体的な数値を記載
  - c. その他 ⇒ 具体的な内容を記載

**【年間受入可能量を決めていない場合】**

- ・ 「決めていない」場合は、年間受入可能量を決めていない理由について下記a～gより当てはまる内容を選択し、回答欄にその記号を記入する。
- ・ 「c. 運搬制限を定めているため」と回答した場合は、定めている具体的な数値と単位（ダンプトラック〇台/日もしくは年）を記入すること。
- ・ 「g. その他」と回答した場合は、具体的な内容について記入すること。
  - a. 定める必要がないため（残余埋立容量に余裕がある）
  - b. 残余埋立容量によるため
  - c. 運搬制限を定めているため ⇒ 具体的な数値、内容を記載
  - d. 受入実績が少ないため
  - e. 他の受入品目との調整があるため
  - f. 都度協議
  - g. その他 ⇒ 具体的な数値、内容を記載

**(33) 調査対象期間最終日時点での太陽光パネルの設置状況（記述式）**

- ・ 処分場における太陽光パネルの設置の有無、調査対象期間に太陽光発電の実績があれば（b、

- c を回答の場合)、発電量等を入力する。
  - a. 設置無し
  - b. 設置無し（以前設置していた）
  - c. 設置有り
- ・ 太陽光パネルの設置場所について、a～dを入力し、dの場合は具体的に設置場所を入力する
  - a. 埋立て終了区域の上部
  - b. 埋立地以外の地面（野立て）
  - c. 管理棟などの建物の上部
  - d. その他（具体的に）
- ・ 設置面積（太陽光パネルの設置された敷地面積）を入力する。
- ・ 発電事業主体について a～c を入力し、c の場合は具体的に発電事業主体を入力する。その他に入る主体としては、第三者や運営・管理者が出資するSPCなどが考えられる。
  - a. 処分場運営、管理者
  - b. 土地所有者
  - c. その他（具体的に）
- ・ 発電能力は太陽電池モジュールの合計出力を入力する。
- ・ 調査対象期間の発電量実績を入力する。
- ・ FIT 制度及びFIP 制度については、利用実績として調査対象期間において本制度を利用した売電量及び売電金額を入力する。

別表 1

## 毒性等価係数 (WHO-TEF (2006))

## a) PCDD+PCDF

異性体		毒性等価係数 (TEF)
PCDD	2, 3, 7, 8-TCDD	1
	1, 2, 3, 7, 8-PCDD	1
	1, 2, 3, 4, 7, 8-HCDD	0.1
	1, 2, 3, 6, 7, 8-HCDD	0.1
	1, 2, 3, 7, 8, 9-HCDD	0.1
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HCDD	0.01
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDD	0.0003
	その他	0
PCDF	2, 3, 7, 8-TCDF	0.1
	1, 2, 3, 7, 8-PCDF	0.03
	2, 3, 4, 7, 8-PCDF	0.3
	1, 2, 3, 4, 7, 8-HCDF	0.1
	1, 2, 3, 6, 7, 8-HCDF	0.1
	1, 2, 3, 7, 8, 9-HCDF	0.1
	2, 3, 4, 6, 7, 8-HCDF	0.1
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HCDF	0.01
	1, 2, 3, 4, 7, 8, 9-HCDF	0.01
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDF	0.0003
	その他	0

## b) コプラナーPCB

異性体		毒性等価係数 (TEF)
ノンオルト体 (Non-ortho)	3, 4, 4', 5-TCB	0.0003
	3, 3', 4, 4'-TCB	0.0001
	3, 3', 4, 4', 5-PCB	0.1
	3, 3', 4, 4', 5, 5'-HCB	0.03
モノオルト体 (Mono-ortho)	2', 3, 4, 4', 5-PCB	0.00003
	2, 3', 4, 4', 5-PCB	0.00003
	2, 3, 3', 4, 4'-PCB	0.00003
	2, 3, 4, 4', 5-PCB	0.00003
	2, 3', 4, 4', 5, 5'-HCB	0.00003
	2, 3, 3', 4, 4', 5-HCB	0.00003
	2, 3, 3', 4, 4', 5'-HCB	0.00003
	2, 3, 3', 4, 4', 5, 5'-HCB	0.00003